

# 鉄道輸送が抱える問題点と解決策

## 【目次】

はじめに

### 第1章 鉄道輸送の歴史の変遷

#### 第1節 日本の旅客輸送の歴史の変遷

- (1) 明治から第二次大戦まで
- (2) 戦後から現代まで

#### 第2節 日本の貨物輸送の歴史の変遷

- (1) 明治から第二次大戦まで
- (2) 戦後から現代まで

#### 第3節 海外の鉄道輸送の歴史の変遷

### 第2章 鉄道輸送と他の輸送機関との比較

#### 第1節 旅客部門

- (1) バス輸送との比較
- (2) 船舶輸送との比較
- (3) 航空輸送との比較

#### 第2節 貨物・物流部門

- (1) 自動車輸送との比較
- (2) 内航海運との比較
- (3) 航空輸送との比較

### 第3章 鉄道輸送が抱える問題点とその後の対策

#### 第1節 地方交通が抱える諸問題

#### 第2節 鉄道会社間における過剰な顧客争奪競争

#### 第3節 過密ダイヤによる弊害

#### 第4節 鉄道輸送における事故例と原因

- (1) 戦後五大大事故
- (2) 北陸トンネル列車火災事故
- (3) 営団地下鉄日比谷線列車脱線衝突事故
- (4) 福知山線脱線転覆事故

#### 第5節 貨物輸送の抱える諸問題

### 第4章 鉄道輸送の新たな取り組み

#### 第1節 旅客輸送での取り組み

- (1) Suica と Icoca
- (2) 湘南新宿ライン

#### 第2節 貨物輸送での取り組み

### 第5章 今後の鉄道輸送のあり方-むすびにかえて-

## 【目的】

現在、鉄道による旅客輸送、貨物輸送双方は、他の輸送機関の発達や鉄道特有の問題で利用者を奪われ苦しい状況である。しかし、地球環境に対する意識の向上により鉄道の良さが社会に広まりつつあり、利用の割合が高まってきている。こうした中で旅客、貨物双方で生き残りを模索する動きが始まっている。本論文では厳しい状況にある鉄道を題材とし、歴史と現状の分析を行ったうえで今後の鉄道の進むべき方向性について考える。

## 【方法】

関連文献、ジャーナル誌を収集・分析し鉄道輸送の現状を調べ、他の輸送機関に対する鉄道の優位性や問題点を分析するなどした。

## 【結果】

サービスなどを検証した結果、旅客鉄道では自社だけでなく鉄道業全体で協力することによって、新たな乗客の獲得がまだ十分に可能である。

一方、貨物輸送は JR 貨物1社であり、輸送場所や輸送距離によっては JR 貨物を利用できず、他の輸送機関とこのまま競争を続けていくことは難しい。しかし、温暖化防止や排ガス規制など他の輸送機関も規制を受けているため、各輸送機関が互いの利点を生かしながら相互に協力関係を構築していく事が今後の最善の策であると思われる。

## 【参考文献】

- 久保田博『鉄道重大事故の歴史』(グランプリ出版)
- 三戸祐子『定刻発車 日本社会に刷り込まれた鉄道のリズム』(交通新聞社)
- 二村高史・富田幸治『鉄道の疑問がわかる本』(山海堂)
- 谷川一巳『日本の空港なるほど事情』(山海堂)
- 柴田悦子『物流経済を考える-改訂増補版-』(成山堂書店)
- 佐藤信之「少子高齢化と鉄道輸送」『鉄道ジャーナル』(鉄道ジャーナル社)
- 平澤崇「乗り換えの壁を検証」『鉄道ジャーナル』(鉄道ジャーナル社)